

大阪の福祉を知る

みんなの情報誌

ウェルおおおか

vol.156

2025年 6月号
隔月発行(偶数月1日)

特集

「eスポーツ」の時代がやってきた ～競技を楽しみ、交流を広げる～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



「eスポーツ」の時代がやってきた ～競技を楽しみ、交流を広げる～



「eスポーツ」は「エレクトロニック・スポーツ」の略で、電子機器を用いて行う競技、スポーツ、娯楽のことです。コロナ禍でリモートでの活動が広まるとともに、ICT(情報通信技術)が急速に進歩し、オンラインで遠隔地同士の交流もできるeスポーツが注目を浴びようになってきました。

若い世代に人気のeスポーツですが、近年は高齢者や障がい者が集う場にも取り入れられてきており、多世代交流のコンテンツとしての期待も高まっています。

ソフト面の環境も整いつつあり、使用許諾の必要なゲームメーカーのものに加えて、月額料金で使いやすいライセンスフリーのソフトが開発され注目を集めています。

2024年には、大阪府内の企業や団体が連携する官民プラットフォーム「大阪eスポーツラウンドテーブル『OeGG』(Osaka eSports Growth Guild)」が設立され、eスポーツの市場拡大だけでなく、世代間交流などの新たな取組みが進んできています。

性別・年齢を問わず手軽に楽しめるeスポーツは、高齢者や障がい者の新たな交流のツールとなり、認知機能の向上や社会参加にもつながると期待されています。

多世代交流を広める コンテンツとして期待

大阪市内でも、集いの場づくりのメニューの一つとしてeスポーツの機器などの貸し出しや、高齢者eスポーツ体

験講座へ講師を派遣する取組みがあります。

高齢者の70歳以上は、携帯電話やテレビ、ゲーム機器などでゲームをしたことがない人が多く、eスポーツは、とても新鮮な体験になっているようです。取り入れた施設などでは、ゲーム機器の使い方や、ルールを教え合い、声を掛け合うといった活気あふれる交流の場となっています。

また、eスポーツで使うソフトの中には、知的財産保護の面から使用許諾の手続きが難しいものもありましたが、月額料金で自由楽しめる「UDe-スポーツ」というソフトが注目されています。比較的簡単でゲーム性のある内容が多く、子どもから大人までオンラインでも楽しめるため、多角的な視点で、世代間の交

流を図ることができるのではと、期待する声が上がっています。

障がい者のニーズに 応える支援も広がる

今まで障がいのある人は、やりたいことや、他の人と競い合うことを諦めざるを得ないことが多くありました。そのような中で、ニーズをとらえたゲームメーカーや技術を持った支援者が、障がい者にとって操作のしやすい汎用性に優れた“ユニバーサルコントローラー”などを開発し、その体験会なども行われています。そういった工夫を通して、障がいの有無にかかわらず対戦できるeスポーツの催しに参加し活躍するなど、これまでであった壁が取り払われてきています。

次のページからは、大阪市内外での地域活動や事業所の取組みで「eスポーツ」を導入している例や、専門家の解説も合わせて紹介していきます。



▲障がい者などに配慮が施されたユニバーサルコントローラーなどを使う体験会の様子
(株式会社アシテック・オコ 小林さん提供)



▲ユニバーサルコントローラー(フレックスコントローラー)にアシテック・オコ製の拡張操作ボタンを組み合わせた当事者用のコントローラー。
(株式会社アシテック・オコ 小林さん提供)



▲「惜しい!」「新記録!」などの声が飛び交う、活気に満ちた会場。

高齢者の笑顔と歓声があふれる、 新しいカタチの「集いの場」

大阪市立都島区老人福祉センター eスポーツ同好会

高齢者が月に1回集い、eスポーツを楽しんでいる都島区の「eスポーツ同好会」。そこには、70代から80代の参加者が歓声を上げ、生き生きとプレーする姿がありました。

都島区社会福祉協議会では、“高齢者の方々が心も身体も元気に暮らすために「集いの場」をつくろう”をテーマに、「生活支援体制整備事業」に取り組んでいます。「その活動として生まれたアイデアの1つが“eスポーツ”でした」と話すのは、同協議会の小阪青空(せいら)さん。

同協議会と老人福祉センターでeスポーツの体験会を開いたところ好評で、今後も続けたいと手を挙げた方々が「eスポーツ同好会」を発足しました。月1回、午前10時半から正午まで活動しており、現在は7～8人の方々が参加されています。

試行錯誤し、助け合う ことで交流が深まる

高齢者の方々が、eスポーツを通して交流することによる効果や影響、今後の課題などについて、小阪さんにうかがいました。

eスポーツの活動を広げていくために意識していることは、「eスポーツを行う機材などは用意しますが、コードの接続方法や開始するまでに必要な操作など

に、手を差し伸べすぎないように、自主性を大切にしています。やがて、参加者同士で創意工夫し、話し合いながら次第にできるようになる。そういうエピソードを通して交流が活発になればと考えています」「一度に4人程度で行うボウリングなら、数人は1ゲームごとに交代で休憩したり、水分補給したりできます。画面を見続けることでの目の疲労も少ないと考えています」と話します。

eスポーツを活動に取り入れる良さについては、「身体を動かし、指先も脳も使って楽しめるのがeスポーツ。互いに教え合い、大きな声を出してはしゃぐこともあります。若さを忘れない活動と言えるかもしれません」と小阪さん。

多世代交流に活用できる eスポーツの可能性

今後は、形を変えながら体験会を行い、「多世代交流」を進めていきたいとのこと。「高齢者の方は、普段、子どもや若者世代と話をする機会が少ないと思います。そんな世代との交流は刺激になりますし、子どもにも人気があるeスポーツを題材にすることで、多世代で楽しめるようになれば」と、多世代が参加できるeスポーツを活用したイベントや活動の場を考えていきたいとのことでした。

参加した
みなさんの声



いい汗をかけて、 交流もできて楽しい

●80代男性Kさん

eスポーツをやっているとゲーム感覚で楽しく、力が入るので汗もかきます。運動不足解消や、気晴らしにもなるので精神的にも良い気がします。以前は、家に引きこもっていたけど、皆さんが気さくな人ばかりなので会話が弾み、いつも楽しんでます。

eスポーツを知って、 世界観が変わりました

●70代女性Sさん

最初にeスポーツを体験したときは、ゲーム自体をやったことがなかったもので、巧みに作られていることに感心し、“こんなに面白いものがあるんだ”と思いました。ボウリング場に行かなくても、重いボールを投げなくても、部屋で手軽に楽しめるのが良いですね。ウォーキングを1人でやるよりも、日常のストレスなどを発散できて、すっきりしますよ。

月1回の交流を楽しみに、 毎回参加しています

●70代女性Iさん

子どもと一緒にテレビゲームをやったことがあり、基本的なことは知っていたためスムーズに参加できました。ゲーム初心者だった方も、すぐに慣れて今ではみんなで楽しんでいます。最初は、いろいろな種目を行いました。難易度の高くない、一度に多くの人数が参加できるボウリングをやるようになりました。交流の場で、皆さんと話もできて楽しいので、今後も毎回来るつもりです。





▲自由時間に、UDe-スポーツを楽しむ利用者みなさん

eスポーツで、仲間とつながる！ ネットで多くの人と交流できる！

特定非営利活動法人 自立生活センター・FREE

障がいのある方の自立支援を行う当事業所では、現在、最大で19名の利用者の方々が、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上を目的とした支援を受けながら、社会参加につながる体験を重ねています。

事業所の活動内容は、平日の午前10時から午後4時まで、自立につなげるための活動や地域活動、販売活動、内職、パソコン作業など様々です。

「決められた内容の繰り返しばかりにならないよう、ビンゴ大会やクリスマスイベント、バーベキュー大会など、気分転換できて楽しめることを定期的に行うようにしています」と門脇さん。

大画面で一体感を 共有できるeスポーツ

門脇さんは、日常の利用者さんを見ていて、気になっていたことがあったと話します。それは、休憩時間や送迎時の車内などで暇があればスマホのゲームをする人が多く、障がいのある方が小さな画面を見続けて悪影響が出ないかということ。そして、スマホゲームをする人とならない人の二極化が進んでいたことです。そこで、何かみんなのできるようなことはないかと、交流のあった株式会社アシテック・オコ的小林さん(P4に掲載)に相談されたとのこと。

「小林さんには、いろいろと教えていただきました。“脊髄損傷とかALSの方でも操作できるようなコントローラーを持って行きます”と言われたのは心強

かった。ネットで交流しながらeスポーツが楽しめる、月額制の『UDe-スポーツ』も教えてもらいました。障がいの状況に応じてコントローラーを提案くださり、設備全般を整えるアドバイスもいただきました」と門脇さん。

そして、2年ほど前から、1ヶ月に1度程度、事業所内の「UDe-スポーツイベント」を実施されてきたそうです。「eスポーツを導入して良かったです、また開催したい」とのことでした。

eスポーツを行う際に気をつけていることとしては、「障がいの状況に応じて操作のしやすいコントローラーを用意します。会場をバリアフリー化し、机などが車いす利用者にとって使いやすい高さになるよう調整します。ルールなどについての説明は何度もわかりやすく実施するほか、ゲームを楽しむことが目的なので勝負に負けた側への気配りも大切だと考えています」と話しました。

利用者の方々の生活の質を高めるために 最新機器による「入浴サービス」も！

当事業所では、eスポーツの他にも2025年春から、最新型の入浴機器による入浴サービスも始めています。

門脇さんは「重度の身体障がいのため、週に2回程度しか入浴できない方々もおられます。この入浴機器を取り入れたことで、安心して入浴し、清潔で快適に過ごしていただけるようになりました。人材不足が深刻な介護の



理事長 介護福祉士
門脇 則文さん



eスポーツを 体験した感想

チームプレイによる 連帯感が生まれる

3人制などで対戦するため、得意な人が教えたり、助け合うなど、コミュニケーションが生まれていると感じます(門脇さん)

向上心が芽生える

UDe-スポーツの大会に出ると、モチベーションが上がります。めっちゃ楽しかった。次は勝ちたいです(利用者さん)

対外交流ができる

外の世界と簡単につながって交流できることがうれしい(利用者さん)

大画面でプレーできる

大画面を見ながら仲間と盛り上がるeスポーツは、ゲーム依存となる不安は少なく、ストレス発散などにも効果があるのではと感じています(門脇さん)



▲利用者にも好評の最新型の入浴機器

障がい者や高齢者の社会参加の入口になる、ゲーム・eスポーツの可能性

株式会社アシテック・オコ 代表取締役 **小林 大作**さん

作業療法士、認定作業療法士、専門作業療法士（訪問作業療法分野）、
デジタルアクセシビリティアドバイザー（DAA）standard

作業療法士として、ALSや筋ジストロフィーなどの神経筋疾患の方の支援に多く関わってきた小林さん。そんな中で当事者がやりたいことを諦めざるを得ない場面に多く接したといいます。そこで「工夫をすれば、希望をかなえられるかもしれない」と考え、当事者ごとのニーズに適した支援を社会保障の外側で行うようになったとのこと。「費用はきちんといただきながら、道具を使ったり、その方の活動の内容を調整するなどして実施しています」と小林さん。

現在、注力している支援の一つがゲーム・eスポーツ。その理由を「例えば、病状の進行で好きなゲームを諦めてきた人も、やり方を変えればできることが多い。ゲームメーカーも、障がい者が操作をしやすい拡張性に優れた“ユニバーサルコントローラー”を発売し始めています」と話し、そういった情報を敏感にキャッチできる支援者と当事者をつなぐことで、諦めかけたことができる可能性が高いと解説します。

当事者のニーズを聞き、きめ細かな支援につなぐ

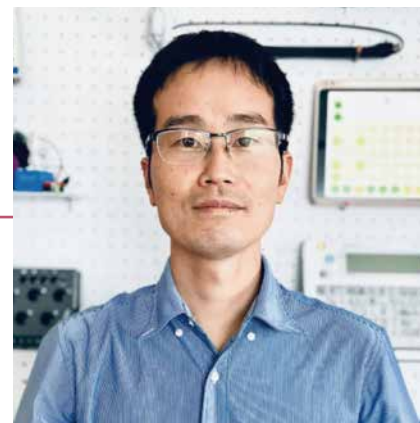
「必要とされるニーズをとらえるため、神経筋疾患の患者や障がい者などを対象に、ゲームやeスポーツなどの体験会を数多く開いています。口で説明するよりも、実際に体験した方が何倍も理解してもらえると」と小林さん。体験会の現場で当事者を観察し、声を聞くといいま

す。「不自由な部分で苦労されてきた当事者が多いので、私が“こういう工夫をすると今できない操作ができるようになる”と話すと、うれしそうな顔をされます。そこでゲームメーカーのユニバーサルコントローラーを紹介したり、改めて相談を受けたりして“やりたかったことができる”きっかけ作りをしています」。

体験会で興味を持った方が、小林さんに相談に来ることも多いそうで、その当事者のニーズに合わせてオリジナルのコントローラーを、3Dプリンターなどを駆使して製作することもしばしば。「提供したコントローラーで、やりたかったことができるようになったと、“これでもできないか”といった声上がる。諦めることが多かった方が、主体的に取り組んでくれることが何よりうれしい」と小林さんは語ります。また、支援者が見学に来て、自分たちが支援している当事者に役立つ情報を収集するケースも増えているそうです。

ICTの発達で発展を遂げるゲーム・eスポーツ

コロナ禍のリモートワークの普及で、離れた場所でもモニターの画面を通して会話ができる便利さが浸透しました。「そこから、ようやく我が国のeスポーツが注目されるようになりました。このICTの進化は、メリットが大きい。以前の体験会では、大阪府の筋ジストロフィーの40代男性が、ベッドの



上でユニバーサルコントローラーを駆使し、宮城県の健常な小学4年の女の子とオンラインで戦って圧勝していました。これまでであったさまざまな壁が取り払われてきています」と小林さん。

一方で、「施設などでゲーム・eスポーツを行う際は、知的財産への理解が大切」と話します。ゲームの中には使用許諾などの手続きが難しいものがあり、小林さんは施設などが利用しやすい「UDe-sports」の活用を勧めます。「これを使えば、いつでも施設などが県をまたいで対戦するような大会を実施できます」。

今後の「eスポーツ」の役割について、小林さんは「ゲーム・eスポーツに取り組むことは、パソコン操作の上達につながり、就学や就労に役立つ可能性も秘めています。オンラインやリアルでの交流の入口となり、さまざまな情報交換が行われることで、“諦めていたことができる”という可能性が広がります。課題は、これを知る人と知らない人の情報格差が生まれないようにすること。そのためには、支援者側も新しい情報や、情報に精通した専門家などとつながり、当事者の願いに寄り添う努力が求められます」と語りました。



足の裏でボタンを操作できるようにアレンジした当事者用のコントローラー。



フレックスコントローラーを使って、視線の動きでNintendo Switchがプレイできるように支援している様子。

福祉・介護の現場で「アシスタントワーカー」活躍中!

アシスタントワーカーとは?

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。

今年度は、新たに3施設がアシスタントワーカー導入の取組みに参加。現場の声を取り入れながら、よりよい介護の職場づくりを進めていきます。利用者の暮らしを支え、職員の負担を軽減し、誰もが働きやすい介護現場へ。アシスタントワーカーと、導入に取り組む職員の皆さんの活躍にご期待ください。



アシスタントワーカー導入プログラムについてご紹介

「何から始めればいいのか?」そんな悩みも専門家がしっかりサポート! 導入準備から現場実践まで、アドバイザーが寄り添って支援します。



導入支援研修

全6回

施設の管理者や介護職員(主にリーダー層)を対象に、専門アドバイザーによる研修を実施します。

介護施設の運営や人材育成の考え方を学びながら、アシスタントワーカーの導入に向けた体制づくりを進めていきます。

令和6年度
導入支援研修の様子▶



個別コンサルティング

全6回(Webと訪問を併用)

研修内容をふまえ、各施設の職員体制や課題に合わせたコンサルティングを実施します。

現場の実情に即したアドバイスによって、スムーズな導入をサポートしています。

令和6年度
個別コンサルの様子▶



令和7年度 アシスタントワーカー導入 取組み施設のご紹介

社会福祉法人まんてん

特別養護老人ホーム らんまん鶴見

〒538-0053
大阪市鶴見区
鶴見5-2-10
☎06-6933-8830



社会福祉法人日本ヘレンケラー財団

障害者支援施設 アテナ平和

〒545-0003
大阪市阿倍野区
美草園3-7-2
☎06-6629-2062



社会福祉法人ほしの会

特別養護老人ホーム ライフカーサ

〒557-0034
大阪市西成区
松3-12-35
☎06-6661-0999



今後、各施設における実践や工夫についてもご紹介していきます!

いきいき健康セミナー／ 猛暑を乗り切る食事術!

管理栄養士 伊藤 和

日時▶6月17日(火)14:00～(開場13:30から)

場所▶大阪市立十三市民病院 9Fすかいルーム

その他▶マスク着用 申込不要



6月28日(土)

市民公開講座を開催します。

テーマ▶目と耳鼻いんこう科に関すること

詳細決まり次第、ホームページ掲載予定。



問い合わせ先

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-12-27

大阪市立十三市民病院 地域医療連携室 ☎06-6150-8000(代表)



福祉・介護のお仕事をされている方へ

福祉・介護のお仕事のやりがいや魅力を伝える

みおつくし福祉・介護の仕事
きらめき大賞 2025

エピソードを大募集!

募集内容

福祉・介護の現場における利用者やその家族等との関わり、職員同士の連携など、福祉・介護の仕事の魅力が伝わるエピソード

募集期間

令和7年6月2日①～8月4日①

応募資格

高齢者、障がい児・者を支援する施設・事業所または児童入所施設において、利用者支援を行う(行っていた)職員

応募方法

所定の応募用紙(ホームページからダウンロード)に必要事項を記入し、メールまたは郵送にて提出してください。



OSAKA CITY 大阪市 × 大阪アニメ・声優 & Animo eスポーツ専門学校

本イラストは、きらめき大賞の受賞作品をもとに、大阪アニメ・声優&eスポーツ専門学校の生徒さんにより制作されたものです

応募されたエピソードの中から優秀事例を表彰し、福祉・介護の仕事のイメージアップに活用する予定です。

募集に関する詳細は、大阪市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.osaka.lg.jp/fukushi/page/0000643613.html>



講座案内

市民向け講座

大阪市内在住、在勤、在学の方

講座名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
介護実習講座 (入門コース) 水曜日クラス	7月 2日(水) 7月 9日(水) 7月16日(水) 10:00~12:00	大阪市内に在住・在勤・在学の方 ※現在介護のお仕事をされている方は、ご受講いただけません	介護福祉士	【テーマ】 ●1日目:介護保険制度の説明、ベッド上での体位変換、車いすの使用方法 ●2日目:高齢者の心と身体の変化、食生活の話、口腔ケアと口腔体操、着脱介助 ●3日目:認知症の理解、清潔保持の介護、足浴の方法	定 員:20人(先着順) 受講料:500円(資料代) 受講初日に現金で申し受けます
介護実習講座 (テーマ別コース)	8月 2日(土) 8月 6日(水) 8月 9日(土) 8月13日(水) 8月16日(土) 13:00~16:00	入門コースを修了された方 ※前年度以前の修了者を含む	一般社団法人 幸せ介護創造 ファクトリー 代表理事 高山 彰彦	【テーマ】※複数選択可 ①8月2日(土)移動①/移乗 ②8月6日(水)移動②/ベッド上の介助(ポジショニングを含む) ③8月9日(土)移動③/車いす操作・歩行(シーティング含む) ④8月13日(水)食事介助/自助具の使い方 ⑤8月16日(土)排泄、着脱介助	定 員:各テーマ20人(先着順) 受講料:1テーマにつき100円(資料代) 受講当日に現金で申し受けます

福祉従事者向け研修

申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
包括的な相談支援・ コミュニティソーシャル ワーク実践講座	7月 8日(火) 8月20日(水) 9月11日(木) 10月7日(火) 11月7日(金) 13:30~16:30	大阪市内24区社会福祉協議会、地域包括支援センター、障がい者基幹相談支援センター、福祉関係事業所等の福祉専門職	武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科 教授 松端 克文	地域を基盤としたソーシャルワークの実践を目指し、“暮らしをまもる”個別支援機能と“つながりをつくる”地域支援機能を連携させた地域福祉推進の理念と方法について学びます。	定 員:36人 締 切:6月16日(月) 受講料:7,500円
介護職員研修 基本編テーマ① 「利用者に寄り添う看 取りと尊厳とは」	7月9日(水) 13:30~17:00	大阪市内の福祉施設・事業所で介護に従事する職員	浄土宗願生寺住職 訪問看護ステーション さつとさんが願生寺 共同代表・チャプレン 大河内 大博	介護現場における人と向き合うことの大切さ、死にゆく利用者の思いに寄り添うことの重要性を、講義とワークショップを通じて学びます。	定 員:36人 締 切:6月13日(金) 受講料:1,500円
介護職員研修 基本編テーマ② 「グリーフケア」	8月28日(木) 14:00~16:30	大阪市内の福祉施設・事業所で高齢者等の介護に従事する職員	天理大学 人文学部 准教授 山本 佳世子	介護職員に求められるグリーフケアの基本的な知識を学び、利用者の思いに寄り添うことの重要性を考えます。	定 員:24人 締 切:8月5日(火) 受講料:1,500円
社会福祉施設職員の 地域福祉実践講座	7月23日(水) 9月 5日(金) 2月20日(金) 10:00~17:00	大阪市内の福祉施設・事業所等に勤務し、地域福祉実践へ興味や意欲がある方 市区社会福祉協議会職員	ふくしと教育の実践 研究所 SOLA 主宰 新崎 国広	社会福祉法人・福祉施設が持つ専門性や経験、社協が持つ地域の幅広いネットワーク等、それぞれの強みを生かし、連携・協働しながら地域づくりをすすめていくことを学びます。	定 員:9人 締 切:6月26日(木) 受講料:9,000円
求人力・広報力 向上研修	7月24日(木) 13:30~16:30	大阪市内の福祉施設・事業所に勤務する職員	大阪総合保育大学短期大学部 教授 前田 崇博	学生や卒業生の評価をもとに、学生等の若者に対して効果的な求人情報の提供や発信の方法について学びます。	定 員:30人 締 切:7月1日(火) 受講料:無料
心をつなぐ コミュニケーション	7月28日(月) 8月 4日(月) 10:00~16:30	大阪市内の福祉施設・事業所に勤務する職員	TEAM-EXE 代表 ナカムラ トモコ	相手の話を上手に「聴く」方法と相手に上手に「伝える」方法を講義と演習を通じて学び、コミュニケーションが楽しくなる技術の習得をめざします。	定 員:54人 締 切:6月27日(金) 受講料:6,000円
福祉職員キャリアパス 対応生涯研修課程 (管理職員コース)	7月30日(水) 8月 5日(火) 9:30~17:00	大阪市内の福祉施設・事業所に勤務する管理職員、もしくは将来その役割を担うと想定される職員	ふくしと教育の実践 研究所 SOLA 主宰 新崎 国広 関西福祉科学大学・ 関西女子短期大学 学長 津田 耕一	管理者として求められる役割やリーダーシップを醸成しキャリアアップの方向を学びます。	定 員:30人 締 切:6月9日(月) 受講料:9,000円+ テキスト代1,000円
社会福祉の基本と対 人援助研修(基礎編・ 実践編)	【基礎編】 8月 1日(金) 8月19日(火) 【実践編】 9月30日(火) 10:00~16:30	大阪市内の福祉施設・事業所に勤務する職員	同志社大学 教授 小山 隆	【基礎編】社会福祉従事者に求められる価値観や倫理観、それらに基づく知識や技術の基本を講義と演習で学びます。 【実践編】基礎編での学びをもとに、各自が持ち寄った事例についてさまざまな職種の人と話し合い、講義と演習を通じて自身の実践を振り返ります。	定 員:30人 締 切:7月1日(火) 受講料:9,000円 ※基礎編のみの受講 の場合は6,000円

★日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

申込み・
問合せ先

研修の申込み方法▶ 当センターのホームページから申込むか、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください
市民向け講座のみ電話でも受け付けます

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

☎06-4392-8272

🌐<https://www.wel-osaka.com>

✉kensyu@shakyo-osaka.jp



図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報



図書紹介

アセスメントでつむ!

家族の対応が難しいケースのケアマネジメント術
意向が違う サービスを拒む 暴言・暴力を振るう

石山 麗子 編著 第一法規 2024年

家族の対応が難しいケースを支援するケアマネジャーがもっておきたい基本的な姿勢や留意点がわかる。また、「適切なケアマネジメント手法」や、課題分析標準項目の改正の経緯などを通して、そのようなケースに対するアセスメント方法を解説。



図解でわかる心理療法

植田 俊幸 ほか 著 中央法規出版 2025年

うつ病や統合失調症、不安症、発達障害、認知症などのある人たちと、対人援助の場面で向き合う際に、押さえておきたい心理療法を網羅した一冊。各種心理療法の具体的な実践手段を、図解を用いてわかりやすく解説。



発生要因別でズバリ解説! すぐ取り組める介護施設・事業所の虐待防止対策ブック 発生させない体制づくりから虐待を疑われないための日常対応のポイントまで

山田 滋 著 第一法規 2025年

「解説編」では、介護現場で近年よくある虐待のケースをパターン化、具体的な対策・対応方法を図表やフローチャート等で解説。「事例編」では、実際にあった事例を現場での実践に落とし込んで解説。



DVD紹介

アロマハンドトリートメント入門

BABジャパン 41分 2024年

リラックス、むくみ解消、疲労回復。医療・介護・福祉の現場で大人気の技術!全身の施術と同等の効果がありながら、その手軽さで人気を集めるアロマハンドトリートメント。椅子とタオルがあれば出来る注目の施術がこれ一枚で学べる。



ウィ、シェフ!

アルバトロス 97分 2024年

一流レストランでスーシェフを務めるカティは、シェフと大ゲンカして店を飛び出してしまう。やっとのことで見つけた新しい職場は移民支援施設での住み込み料理人の仕事。孤独なシェフと移民少年の料理を通じた心の交流を描く、キッチン・ドラマ!



52ヘルツのクジラたち

ギャガ 136分 2024年

傷を抱え、東京から海辺の街の一軒家へと移り住んできた貴瑚は、虐待され、声を出せなくなった「ムシ」と呼ばれる少年と出会う。かつて自分も、家族に虐待された彼女は、少年を見遇うことが出来ず、一緒に暮らし始める。2021年本屋大賞を受賞したベストセラー小説を、映画化したヒューマンドラマ。



募集!!

あなたの周りに眠っている古本はありませんか?

8月に開催する「リサイクルブックフェア」の古本を募集しています!

- 本、絵本、マンガなどジャンルは問いません。何冊でもOK!
- 読めないほど傷んだ本の寄贈はご遠慮ください。
- 寄贈していただいた本は返却できません。
- 募集締切/8月21日(木)
- 受付場所/大阪市社会福祉研修・情報センター 1階 事務所/2階 図書室



リサイクルブックフェア

「リサイクルブックコーナー」の古本を無料で持ち帰りいただけます!

- 開催期間/8月22日(金)10:00~28日(木)15:00まで

毎週金曜日の開館時間を午後7時まで延長しています。ぜひご利用ください!



大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを、無料で貸出してあります。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉の関係の雑誌などが充実しています。)

開室時間/月曜日~木曜日・土曜日 9:30~17:00、金曜日 9:30~19:00

利用資格/貸出し期間(2週間)内に、来館しての返却が可能な方

休 室 日/日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始

問合せ先/☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります



新着情報はこちら▲



6月は
食育月間です



かしこく食べよう! ゲンキをつくろう!

「野菜を食べよう」



野菜から食べよう



健康づくりと生活習慣病予防のために、野菜を1日350g以上
【野菜料理 1日5皿(鉢)を目安に】食べましょう

〈野菜から食べる習慣を〉

先に野菜を食べることで、食べ過ぎを防ぐことや野菜摂取の習慣化も期待できます。

〈野菜をしっかり食べるコツ〉

- 1日3食 食べる
- 主食・主菜・副菜をそろえる
- 加熱調理で「かさ」を減らす
- カット野菜などを活用
- 外食や外で買って持ち帰るときは野菜メニューを選ぶ



あなたのお口は健口(けんこう)ですか?

歯周病は、気付かないうちに徐々に進行していくことから「沈黙の病気」とも言われており、成人期以降に歯を失う一番の原因になっています。また歯周病は、肥満、糖尿病、心疾患、脳梗塞など、全身の健康と関連があることが分かっています。

自分の歯でおいしく食べられることは人生の楽しみのひとつです。歯周病にならないようにするために、定期的に歯周病検診を受けましょう。

■大阪市で受けることができる歯周病検診と相談

●令和7年度歯周病検診(問診・口腔内検査)

※エックス線撮影やむし歯治療、歯石の除去などは含まれません。

対象 令和7年4月1日～令和8年3月31日の間に

20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳になられる市民の方

期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日 費用 500円(生活保護世帯・市民税非課税世帯の方は無料)

場所 市内取扱歯科医療機関(要予約)

●歯科健康相談(個別相談)

対象 大阪市民

費用 無料

日時・場所 区によって異なりますので、各区保健福祉センターへお問い合わせください。



取扱医療機関▼



各区保健福祉センターの電話番号は「4ケタ△△△△-9882」です

北 区	6313	浪 速 区	6647	阿 倍 野 区	6622
中 央 区	6267	東 成 区	6977	平 野 区	4302
天王寺区	6774	鶴 見 区	6915	此 花 区	6466
東淀川区	4809	東住吉区	4399	大 正 区	4394
城 東 区	6930	福 島 区	6464	淀 川 区	6308
住 吉 区	6694	港 区	6576	旭 区	6957
都 島 区	6882	西淀川区	6478	住之江区	6682
西 区	6532	生 野 区	6715	西 成 区	6659

その他にも検診を実施しています!

胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・
子宮頸がん検診・乳がん検診・
前立腺がん検診・骨粗しょう症検診

詳細はこちら▶



大阪市健康局健康づくり課(健康づくりグループ) ☎06-6208-9963

今月の自助具

持ち方多用グリップ(3Dプリント自助具)

主な適応疾患・対象者 ▶ 握る力が弱い人・指の動きに制限がある人・指や手のひらに変形や拘縮のある人

- 〈機能・特徴〉
- 市販のスプーンやフォークを差し込んで使える
 - グリップ部は熱可塑性ポリウレタンでゴムのような弾力性と硬質プラスチックのような強さを兼ね備えた素材でできている
 - 使う人に合わせ、データ上で簡単にサイズや硬さの変更ができる
 - 食器洗い機にもかけられる
- 〈使 い 方〉
- 普通のスプーン・フォークの柄をグリップ部の穴に差し込んで使う
 - 利用者の使いやすい握り方で使用する



下から中指で支え、親指と人差し指で押さえて握る

上から握り込む

中指と人差し指で握る

グーで握る

資料提供・問合せ ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋

☎06-4981-8492(月・水・金 10:00～15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活

応援グッズ

立ち座りを安全に

最大100cmの高位置指示で
安定した立ち上がりを実現



◆U-ケア

置くだけで設置できる立ち上がり補助手すり。高位置支持が可能で、目線を上げた状態で歩き出しができ、転倒予防にオススメです。玄関や寝室で安定した立ち座りができます。



コストパフォーマンスに優れた
据え置き型手すり

◆よかレール

工事不要で置くだけの据え置き型手すり。高さ5段階調節・4本手すりです。多様な姿勢に対応。握りやすく、蓄光リングや安定ベースで安全性も高く、マットを取り外して洗えるので衛生的に使えます。



小さな玄関にも対応
コンパクトスペースの
あがりかまち用 手すり

◆あがりかまち用 たちあつびミニ

玄関に置くだけで設置できる手すり。あがりかまちは昇降を安全にサポート。万が一の転倒・転落予防に大活躍の手すりです。集合住宅にも対応可能です。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会
介護情報・研修センター福祉用具展示場

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15

大阪府社会福祉会館1階

☎06-6763-1480

HP <https://kansil.jp>

同心会社会福祉研究「研究奨励賞」等を授与

同心会(会長 白澤政和:国際医療福祉大学 大学院
医療福祉学研究科 教授)では、大阪市内で社会福祉
に関する活動を行っている団体、グループ及び個人が自
発的に研究活動を行い、その成果をまとめた「大阪市社会
福祉研究第47号」の掲載論文から、特にその内容が優秀
と認められたものに対して、3月25日(火)、大阪市社会福
祉研修・情報センターにおいて「研究奨励賞」「研究努力
賞」「会長賞」を授与しました。



第47号 受賞論文

研究奨励賞

◆救護施設における心理アセスメントの取り組み 豊田 祥平

研究努力賞

◆生活困窮者自立支援制度の支援会議の実態と参加者にとっての意義
ー大阪市西淀川区における会議参加者アンケートの質的分析ー

..... 大里 祥・末長 秀教・北川 好美

会長賞

◆支援と規律～生活保護ケースワーク試論～ 松藤 栄治

◆在宅認知症高齢者への通所介護利用から継続できる支援と安心できる施
設入居に向けた取り組みー環境支援指針PEAP 日本版3 を通した実践ー

..... 亀井 章

◆個別療育という「価値」について

～作業療法、自律神経系、情緒への支援という視点からの考察～..... 柳下 雄大

どんな広告を
作ればいいのか
悩む...



内製している
チラシの評判が
よくない...

何年も使っている
冊子を
新しくしたい!



クリエイティブ関連のお悩み解決は
「ウェルおおさか」も制作している
アド・エモンにぜひお任せください!!

チラシ

パンフレット

小冊子

カタログ

会社案内

各種PRツール

取材・撮影

印刷

アニメーション動画

and more...



納得のご予算でお客様のイメージを
トータルでカタチにします!!

TOTAL CREATION
AD-EMON

株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号

TEL 06-6358-1010 FAX 06-6358-1011 info@ad-emon.com

http://www.ad-emon.com



(広告)

大阪市 社会福祉研修・情報センター

X (旧Twitter) を
チェック!

研修の告知・研修のレポート報告
普段のスタッフの様子、知って得する豆知識など
さまざまな情報を発信します!!

https://twitter.com/wel_osaka



フォローお願いします!!

CENTER INFORMATION 大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間／9:00～21:00まで(土・日曜日は9:00～17:00まで)

図書・資料閲覧室は9:30～17:00まで(月～土曜日)※毎週金曜日19:00まで

休館日／国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の 問合せ	06-4392-8200	9:00～21:00(土・日曜日は17:00まで) (会議室の申込・お支払いは9:30～17:00)
研修関係の 問合せ	06-4392-8201	9:00～17:00
図書・資料閲覧室の 問合せ	06-4392-8233	9:00～17:00



貸室ご利用の皆様へ

貸室予約がオンラインで24時間パソコンやスマートフォンから可能となりました。

ホームページの【貸室のご案内】よりログインし、ご予約ください。

初めてご利用される方は、事前にお問合せください。

[ウェルおおさか](#) [Q 検索](#)

利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、インターネットでの予約、または電話や窓口でご確認のうえ所定の用紙でお申込みください。
電話や窓口での受付は、9:30から17:00まで。

☎06-4392-8200

FAX 06-4392-8206

※インターネットでの予約可能な期間は、利用日の6か月前から利用日の1週間前までです。
FAXでの申込み可能な期間は、利用日の6か月前の9:30～利用日の3日前までです。
詳しくは、ホームページの【貸室のご案内】をご覧ください。

会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。

ご予約は利用日の6か月前からです。

(単位:円)

室区分 利用人員のめやす		時間区分			
		午前 9:30～12:30	午後 13:00～17:00	夜間 18:00～21:00	全日 9:30～21:00
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700
5階	演習室	18	1,000	1,300	1,000
	大会議室	144	5,800	7,700	5,800

交通

ご来所には【大阪シティバス】【JR】【大阪メトロ】をご利用ください

大阪シティバス

「長橋二丁目」バス停すぐ

52系統(なんば～あべの橋)

「中開三丁目」バス停徒歩5分

80系統(鶴町四丁目～あべの橋)

JR大阪環状線・大和路線

「今宮」駅から徒歩約10分

大阪メトロ・四つ橋線・御堂筋線

「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分

「大和町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地／〒557-0024

大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体／大阪市

運営主体／(指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話／☎06-4392-8200(代表)

ファックス／FAX 06-4392-8206

URL／<https://www.wel-osaka.com>

Facebookもチェック



X(旧Twitter)もチェック



「ウェルおおさか」に
広告を掲載しませんか

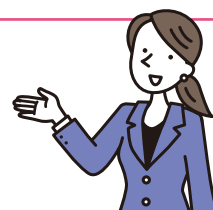
詳しくはお問合せください…

大阪市社会福祉研修・情報センター

☎06-4392-8201

FAX 06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp



人権啓発キャッチコピー

【テーマ】障がいのある人をめぐる人権

個性だね おなじ人間 みな平等

〈ペンネーム〉あいうえおさん(令和6年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 高校生の部 佳作)